

昭和二十八年三月

第二回

婦人労働問題研究会議のための手引

婦人少年室用





|   |               |    |
|---|---------------|----|
| 一 | この研究会議の趣旨について | 一頁 |
| 二 | 研究問題について      | 一頁 |
| 三 | 研究会議のもちかたについて | 四頁 |
| 四 | 参考資料について      | 五頁 |
| 五 | 参考 (附録)       | 六頁 |
|   | —— 若干の統計資料 —— |    |

婦人の労働問題 研究会議開催について

一 この研究会議の趣旨について

第二回婦人労働問題研究会議を実施することになりました。この研究会議の目的は既に要綱におしめしをたとおり、働く婦人の健康の確立と幸福の向上のために、衛生の観点から婦人の職場の現状について分析し、また婦人に適した衛生管理のありかを探るとその実現のための方策を、専門家の研究討議によって導き出すことにあります。婦人の職場における衛生管理上の問題に關して衛生管理者・使用者・労働組合・学識経験者の方々の日頃からの研究が、この研究会議にもちよられ、専門的な研究分析のもとにおいて問題点の把握がなされるようにいたします。全国この研究会議の結果は、できれば来る昭和二十八年度に実施する予定のこの問題に關する啓発運動のための基礎資料としたいと考えますので、この研究会議には量質ともくすぐれを統計資料、調査研究資料が集められるよう、會議をすゝめて下さいます。特に、各婦人少年室としては、この研究会議においてこの問題に關する管下地方の実情および地方に特殊な問題点を適確に把握しておくようにします。

二 研究問題について

「働く婦人の衛生管理」については、いろいろの角度から研究することができそうですが、一応次のような問題の中から適当な問題をひとつえらんで、研究討議します。なお、このほかにもその地方に特殊な婦人の衛生管理上の問題があるような場合には、それについて研究討議されても差支えありません。

1. 婦人の職場配置
2. 婦人の業務内容
3. 職場施設



## 4 衛生管理組織

## 5 働く婦人の生活時間構成

## 6 婦人の生活時間

## 1 婦人の取場配置

婦人の使用については、その適性および取場内容の科学術分析にもとづいて取場に配置されるよりも、女工からコッピの仕事や、掃除の仕事にいつように深く考えることもなく、いま、どのありきたりの女の仕事について頭で簡単にふりあてるといふことが多くはないだろうか。そのような婦人の取場配置についての無反省な仕方が、婦人に真に自己の能力を発揮させることもなくおわらせ、婦人の労働生理上の特性を無視した取場配置の結果は、かえって婦人をしてか、らなくしてすむ苦の疾病を生じさせ、または思わぬ結果をひきおこすことにもなりまいよう。

婦人の取場配置については、作業強度・作業環境（環境条件——高温低温・高気圧・低圧・救振・有害なガス蒸気・粉塵・有害な放射線——）・作業内容（重量物を取扱う業務とか高所・高速度の機械の運行を取扱う業務など）・作業能力（筋肉作業能力・精神術作業能力）・母性の保護などあらゆる角度から、婦人の取場の現状についての分析・検討を加え、その改善のための方策を練ります。

## 2 婦人の業務内容

婦人については、男子に比べて業務内容が明確でなく、そのためにその婦人が取場にあって発展していくのを阻害していくばかりでなく、過労に陥り、疾病をおこすということになり仕事の能率を低めるといふようなことは非常に多くみうけられるところです。タイピストとか、事務員として雇われている、はつきりとしたその取場のほかに、掃除、お茶汲み、他の取員のための昼の茶当買ひなどの仕事がつぎからつぎへと仕事に入つてきくそのために計算してみると驚くべき時間と労力を費し

ていることがあります。また、ある化学工場で女性に有害な薬品をつかっているところでは婦人を雇つていないけれども、他の取場に配置されている婦人が、その薬品にあかされた。調べてみると自分の仕事以外にその取場の掃除を毎日しているのが原因であつたという場合もあります。このよう取わけ業務内容の分析は、婦人の衛生管理上現在検討を要する問題点のひとつといえましよう。

### 3.

#### 取場施設及び設備

ある機械器具工場についてみると、男子の椅子は高かつたり低かつたり位置も人によつてちがう。ところが女子のは、一せいに同じでかたで機械に対して同じ位置を占めているのでさいてみたところ、男子は一生そこで仕事をするのであるから、自分の仕事に徹底して忍耐よくできるうちに、それ以外の人の高さ、好みに応じて椅子をこしらえているが、婦人の方は二三年でやめて人が代つていくのだから、誰にでも何とかなうように画一的にやつていけるといふことをしめた。このように、椅子などの取場施設は勿論機械の構造やものも男子本位にできていのが従来の特徴といえましよう。婦人に適した施設の検討も必要を問題のひとつといえましよう。

### 4.

#### 衛生管理組織

衛生管理は、安全管理とちがつて、管理の結果が直ちにあらわれずいので、とかくゆるゆるの自暴快用者の双方から、おうそかにこれがちでそこに衛生管理上の根本的な問題があります。さて婦人の衛生管理についてはそれに加えていろいろの問題がありましよう。

たとえば婦人が非常に多い取場であるのに、婦人の衛生管理者がないために、婦人の衛生問題についてつい気がつかず、衛生管理があうそかにされるところといふこともありましよう。

#### また

衛生管理者が婦人である場合、取制における位置が低いため折角のよい意見が通らな

い。また、たんに婦人であるがために、安全衛生委員会その他の組織にもで、発言するような機会が少い。また、婦人の場合特にみうけられることは、看護婦とか保健婦の仕事と他に専内の仕事がある



ので、とくに衛生管理の方の仕事が後まわしになるか、あるいはできなくなるというようなことと少くありません。衛生管理の組織については、この点の検討を必要とする面が少くありません。

### 5. 働く婦人の生活時間構建

婦人労働者が、男子労働者にくらべて、その生活時間構建において、絶対的に異なっているのは、家事負担と文化教養娯楽の時間です。両者の時間の割合が男子と女子とで全くさかさまになっているのは、婦人少年局の資料「婦人労働者並びに労働者家庭婦人の工場外生活時間調査」にも明確にでています。割合がさかさまになっているばかりでなく、婦人労働者の場合には、この家事負担が職場の労働によつて得た疲労を、恢復するひまもなく、いかばさつて、婦人を過度の疲労におとしつけます。このことは、子供をもつ婦人労働者の場合は、著しい結果を生じます。労働者の中にいる婦人の場合、家事負担は、一あうきもなく、この場合は、自治活動など集団生活に必要な時間のほかに、多くの稽古ごとに時間をとられ、真に拘束気分から解放される元気を快くするをめの自由時間が極く少いことが問題となつてくるでしょう。

## 三、研究会議のもちかたについて

まえもつて参加者から、働く婦人の衛生管理について肉体的ある資料、たとえば疾病統計などの統計資料、衛生管理者の病欠者訪問記録など、また衛生管理者が特にその職場での必要上、また個人同関心から集めてくる調査資料、研究資料などの提出を依頼します。

2. 研究題目は婦人少年室自体がえらぶが、または予備会議でえらびます。その題目について、予め参加者のうちの適當な人に、研究發表を依頼してかき、(一人でも数人でも) 会議では、その發表にもとづいて研究討議をすゝめます。

3. この研究会で發表された研究および、この会議を機としてよせられる調査資料、統計資料、研究論文などの中のいくつかは、できれば資料として編さん發表する予定ですから、会議では問題点がでさるだけ専門的に深く分析されるように、あすゝわくください。

4. 議事内容のうち、第二議題の婦人の衛生管理のありかるところの表現方法まで完全に研究討議することとがのぞましいのですが、実情によつては第一議題だけにとどめてもよく、少くとも婦人の取扱いに關する衛生管理上の問題点については、徹底的に問題の把握をするようにします。

#### 四、資料について

この会試のなかに参考になる資料のうち、主なものを次にあげておきます。

##### (1) 婦人少年局発行の資料

1. 一九五〇年 一九五一年婦人労働統計資料
2. 婦人労働者並びに労働者家庭婦人の工場外生活時間調査
3. 産前産後休業調査 婦人労働資料第十三号
4. 女子の重量物取扱作業に關する調査



(2) その他の参考資料

統計資料

図書名

労働者の疾病統計状況

昭和二十六年定期健康診断結果による結核調査について

労働衛生資料(第二十二集) 職業病(7)

労働疾病統計

産信事業に於ける筋的作業強度測定報告書その(五)

資材局工場倉庫作業

印刷工場

車輛工場

工作工場

麴町第一倉庫

資材局勸品課切手係瀧野川分室

産信事業に於ける筋的作業強度の測定報告その(七)

航空保安業

産信事業に於ける筋的作業強度測定報告その(六)

電波観測作業

——電波局中央電波観測所——

発行年月日

著者

昭、二七・六

長崎労働基準局

昭、二六・一〇

日本通運株式会社 総務部厚生課

労働省労働基準局労働衛生課

昭、二三・一一

産信 労働調査室

昭、二三・一一

労務局 労働調査室

昭、二三・一一

産信 労働調査室

圖書名

(7) 逓信事業に於ける節約作業強度の測定報告書その(八)

電話交換作業

——東京中央電話局——

逓信事業に於ける節約作業強度の測定報告書その(九)

電信作業

——東京中央電信局——

浜松郵便局電信課——

逓信事業に於ける節約作業強度の測定報告書その(十五)

国際電気通信施設部

——福岡受信所——

小山送信部関係——

逓信事業に於ける節約作業強度測定報告書 その(十二)

郵便作業

盛岡郵便局

青森鉄道郵便局

東京鉄道郵便局

逓信事業に於ける各種作業の工ネルギー——代謝率について

発行年月日

昭二三、十一

昭二四、一

昭二四、五

昭二四、三

昭二四、三

著者

逓信労働調査室

逓信労働調査室

逓信省労働局労働調査室

逓信労働調査室

逓信労働調査室



逓信事業に於ける各種作業のエネルギー代謝率（総括報告）  
作業条件改善委員会調査報告 第一〇号

逓信事業に於ける筋的作業強度測定報告書その他

貯金保険作業

東京簡易保険支局

東京貯金支局

東京中央郵便局貯金保険課

エネルギー代謝率測定表

取業病調査第六回第七回報告

宇部興産宇部壱系工場

日本水素小名浜工場

取業病調査第八回報告

日本水素小名浜工場瓦斯工場

昭二四、三  
昭二三、十二

昭二三、十一

昭二三、一〇

昭二四、四

昭二四、九

逓信労働調査室

疏安工業復興会議  
労働厚生委員会

逓信労働調査室

逓信労働調査室

疏安工業復興会議  
労働専門委員会

疏安工業復興会議  
労働委員会

## 圖書名

日本社会衛生年鑑

産業保健管理

労働管理全書 第廿三卷 工場保健衛生

労働管理全書 第廿三卷 労働衛生

産業科学全書 才一卷 月経と作業能率

勤労と結婚 (女性篇)

労働と休養

本道金屬鉱山における肺病の実状

労働の衛生学

労働衛生と生理

疲勞と休養

勤勞と生活

生産と労働

労働管理者必携

労働基準法による集田給食指針

(財團関係法規集)

発行年月日

大正、十四

昭、十七、七

昭、十八、七

昭、十九、三

昭、十八、三

昭、十九、八

昭、廿五、二

昭、廿七、四

昭、十七、三

昭、廿三、十一

昭、十七、八

昭、廿二、四

昭、十六、十一

一九四九年

昭、二四、二

著者・発行所

労働科学研究所編纂

勝木新次春 東洋書館發行

栗原 操春 東洋書館發行

梶原三郎 東洋書館發行

桐原藤見 東洋書館發行

澤井 淳 健文社

雙山 京 光生館

北海道立 労働科学研究所

石川知福 三省堂

猿田南海雄 西日本新聞社

古沢一天 東洋書館

石川知福 北光書館 版

暉坂義等 科学主眼工業社

日本労働衛生管理委員会 東京労働衛生社

労働衛生課長

坂田治作

厚生技官

半田武天

第一出版 (株)



衛生（安全）管理看実務必携

労働衛生管理

労働の生理

労働科学研究報告第一部

工業労働及労務管理第六册

産業と結核

婦人関係シリーズ調査資料 No.8

工場労働者家族の生活（生活状況の実態と生活時間）

労働者の生活標準

労務者標準生活

— 勤労者一般について —

労働衛生管理実務提要

労働生理

公務員の結核対策は如何にすべきか

救護の実際

珪肺のX線図譜

昭和二十三年度珪肺検診報告

昭和二十四年度研究報告

昭、二三、十一

昭、二三、十一

昭、二三、五

昭、一七、十二

雇安工業復興会議事務局  
繊維産業保健協会編 公衆衛生社  
日本産業衛生協会編  
日本産業衛生協会発行

労働科学研究所

労働省婦人少年局

社会局

柳原平八 東洋書館

井上善十郎 南江堂  
林信治 春

古沢一夫 東洋書館

人事院総務局 能率局

社団法人日本産業衛生協会編

労働省 労働基準局

労働省 労働基準局 労働衛生課

労働省 珪肺試験室

一九四九年

## 圖書名

労働行政策と労働科学

工場保健衛生

労働衛生と生理

日本に於ける結核の實態

保健と衛生

公衆衛生の原理

衛生統計医師必携

結核予防法の解説

新訂 保健婦詠本 上巻

栄養の効率化

生理学概論（下巻）

公衆衛生学

精神衛生講話

公衆衛生学

結核の科学

栄養学概論

食物衛生

労働安全衛生ハンドブック

発行年月日

昭和十七、四

昭和十七、四

一九五〇年

著者、発行者

藤林敬二、労働科学同政会編 有斐閣

栗原 操 東洋書館

徳田角海雄 西日本新聞社発行

財団法人 結核予防会

加藤元一、富田恒男共著 三省堂

ルネ、サント着

厚生省公衆衛生院 白石信河、田多井吉之介共訳  
厚生省衛生統計部編 日本衛生統計協会厚生院公衆衛生局長山口正義監 時世通信社  
出版部

小宮山新一 南江堂

有本邦太郎 大八洲出版(株)

林 謙 中山書店

古屋芳雄 日本臨旅社

下田光造 岩波書店

戸田正三 東洋書房発行

官本 忍 岩波書店

鈴木梅太郎共著 雄山閣

三田次郎 雄山閣

高野大郎 雄山閣

紫山知輝 共著 雄山閣

桐原深見 監修 河出書房

勝水新次 監修 河出書房





